

ホームステイボランティア経験者の声

・ホームステイ中はどのように過ごしましたか？

1 日目は、ショッピングモールで一緒に買い物をしました。

100円ショップでクッキング道具などを購入し、次回我が家に来たらケーキを作りたいと言っていました。

食事は、宗教上豚肉がダメだそうで、予定していたメニューを急遽変更しました。プロフィールに無かったので少々慌てましたが、家族でワイワイと異文化交流をしながらの夕食は盛り上がりました。



2 日目は、午前中に着物着付け体験をして、写真もたくさん撮りました。

午後は、私も行きたかった公園の「梅まつり」に行き、特に、同時開催されていた「陶器市」をとっても喜んでくれ、お土産に湯呑みを2つ買っていました。



その後、和食レストランで、皆で会食し駅に送りましたが、その後も地元でのイベントに同行したり、我が家の「ひな祭りパーティ」で、七段飾りのお雛様を楽しんでくれたりしました。

これからも度々訪れてもらい、一緒に料理をしましょうと話しています。

・受け入れにあたり、気を付けていることや工夫していることはありますか？

やはり、相手の人格や国、宗教に敬意を示すことでしょうか。

工夫と言うほどではありませんが、あまりお客様扱いをせず、日本人の普段の生活を見てもらうようにしています。



・ゲストを受け入れての感想をお願いします

今回は相手の国について勉強不足（いつもですが・・・）でしたが、聞くこと全てが珍しく、まさにお茶の間に、異文化交流を楽しみました。

ひとつだけ心がけているのは、みなさん日本が好きで日本語を勉強し、留学先に日本を選んでくれたので、帰国の時にはもっと日本を好きになってもらえたら良いな～ということです。



良い方をご紹介くださり、ありがとうございました。



・ホームステイ中はどのように過ごしましたか？

近くの公共施設のフェスティバルで、色々なイベントをしていたため、茶道体験やだるま絵付け体験などをしたり、公園で遊んだり、ドライブもしました。



・受け入れにあたり、気を付けていることや工夫していることはありますか？

家族の一員として、心地よく過ごしていただけるようにしました。あらかじめ、受け入れする方の国について、子どもたちと調べて話しました。



・ゲストを受け入れての感想をお願いします。

色々な話をして、子どもたちも外国の方を身近に感じられ、とても楽しく過ごせました。



・ホームステイ中はどのように過ごしましたか？

ひな祭りが近かったので、岩槻の雛人形工房に見学に行きました。あとは、一緒にスーパーに行き、食べたいものを聞きながら買い物をするなど、自宅でゆっくり過ごし、特段出かけることはしませんでした。その分、時間に追われず、子どもたちもコミュニケーションをはかることができました。本人にも楽しんでもらったように感じています。

・受け入れにあたり、気を付けていることや工夫していることはありますか？

相手の住んでいる国のこと、本人の将来の計画など、日本語でも英語でもたくさん質問して、できるだけコミュニケーションの量と質を高めるようにしています。また、ゲストが遠慮や、緊張する必要がないよう、フランクに接するように心がけています。ステイ中は、なるべく本人の希望を聞き、沿える部分を増やすようにしています。ステイが終わるときには、一回きりの付き合いで終わってしまわないように、お互いの連絡先を詳しく交換しています。



・ゲストを受け入れての感想をお願いします。

日本語がまだ上手でない方も受け入れましたが、礼儀正しく、マナーも良かったです。将来にわたり、家族のメンバーとゲストがコミュニケーションをとり続けられると良いと思います。

・ホームステイ中はどのように過ごしましたか？

1日目は、長女が作った焼きそばやサンドイッチ、サラダの昼食を取った後、さいたま市の盆栽美術館を見学しました。その後、ゲストと家族みなでおしゃべりを楽しみました。

Facebook を使い、ゲストの2人のお子さんご主人も紹介してもらいました。

夕食は、一緒に近くのスーパーに買い出しに行き、寄せ鍋、きんぴら、ぬか漬けなど、掘りごたつのある1階の祖父母の所で食べました。

2日目は、ごはん、味噌汁、鮭、卵焼き、のり、梅干しといった朝食をとったあと、小江戸川越を楽しみました。

蔵造りの街並み、まつり会館、菓子屋横丁など、非常に喜んでいただけました。夕食をとったあとに、車でゲストの居室がある日本語国際センターまでお送りしました。



・受け入れにあたり、気を付けていることや工夫していることはありますか？

当たり前のことですが、家族同様に接するよう心掛け、必要以上に気を使わないことです。

あまり気を使い過ぎると、お互い疲れてしまいます。また、ゲストの方には一般家庭を通じて、日本のことを学んでいただくとともに、私たち家族もゲストの方から様々なことを得ることができるウィンウィンの関係が重要だと思います。

我が家では、家族全員で心をこめてお迎えますが、3人の子供たちが順番に主ホスト役となることとしています。役割としては、2日間のおもてなしの計画（食事のメニューとお連れする場所の選定、部屋の提供など）を事前に考えて準備することとお世話係です。

・ゲストを受け入れての感想をお願いします。

非常に親しみやすく誠実な方で、トルコの大学で日本語を教えているだけあって、教養や見識も深く、こちらの方が学ぶことの方が多かったです。様々な国に行かれている方なので、いろいろな話を聞き、刺激を受けました。

また、大学進学後に海外留学を希望している長女に対して、非常に役立つアドバイスをいただくとともに、バックパッカーとして世界中を旅している次男には次の訪問国へのヒントをいただけたようです。さらに、長女が日本語国際センターで開催された歓送会のパーティに参加させていただき、ゲスト以外の多くの国の方々とも話ができて、有意義なひと時を送ることができた大喜びでした。



・ホームステイ中はどのように過ごしましたか？

タイの留学生2人を受け入れました。初日は午後2時頃に来て頂き、家でゆっくりして、いろいろな話をしました。まずお茶とお菓子でひと休みしてから、タイの地図で2人のホームタウンを教えてください、住んでいる地域の様子や家族の事など、いろいろ話してもらいました。私達も行った事のあるタイの地域を地図で見ながら、タイでの体験話などして盛り上がりました。

また、私達も家族の話をして、写真も見てもらいました。日本の結婚式や七五三祝い、旅行やいろんな事を、我が家の写真で見てもらいました。

夕食は早めに普通の和食でしました。私は料理が得意ではないので 美味しかったかどうかは、「??」です。夕食後、私は地域の役員会に出席したので、その間2人の留学生と主人の3人で話をしていました。

2日目は朝食後、私と音楽仲間時々行くコンサートへ、一緒に行きました。演奏家5人（ピアノ、バイオリン（2人）、チェロ、ビオラ）を呼んでのプライベートのコンサートです。タイではクラシック音楽を聴く機会が無かったそうで「とても良かった」と言っていました。

コンサート後、レストランで夕食をして家に戻りましたが、2日間アツという間で、一緒に写真を撮るのを忘れていて、2人が帰る間に居間で一緒に写真を撮りました。



・受け入れにあたり、気を付けていることや工夫していることはありますか？

いろんな話に花が咲くのですが、宗教と政治については、深い話はしないようにしています。また、留学生の興味をできるだけ満足してあげるよう心がけています。ホームステイ後も日本滞在中は、できるだけ我が家を訪れてもらえるようにしています。

ただ、私たちは留学生が日本滞在中に、あれもこれも体験させてあげたい！と思う気持ちが強いので、押し付けがましくならないようにと、気持ちをセーブしています。それから、できるだけ日本の良いところを持ち帰ってもらおうと思っています。

・ゲストを受け入れての感想をお願いします。

2人を受け入れたときも、どちらの方も気遣いはあるし、礼儀正しいし、明るく楽しい学生さんたちでした。勉強にも意欲が有り、好奇心も旺盛で前向きです。若い人はいいです。私達も大いに元気をもらいました。これからもいろんな国の方との出会いを楽しみにしています。



ゲストの感想

- ホームステイ前は、少し心配でしたが、ホストファミリーがとても優しくしてくれたので、感動しました。いろいろな体験が出来て、良かったと思います。
- 留学で日本に長く住んでいるので、今さらホームステイするのもおかしいかな？と、最初は思っていました。でも、本当に行って良かったです。
- 日本の文化をたくさん学びました。ホストファミリーは、私と話すだけでなく、私自身のことや私の国の文化について学ぼうとしてくれました。それはとても素晴らしいことです。
- 短い時間だけれど、色々な話が出来た。いろんな年齢層の人とのコミュニケーションによって、とても勉強になった。
- まだまだ日本語を勉強しなければならない私でも、ホストファミリーはそれを気にせず、分かり易い言葉で話してくれた。こんな優しいホストファミリーに出会えて、もっとうまく会話できるように頑張りたいという気持ちになった。
- 初めは、言葉の壁や文化の違いを心配していたが、優しくフレンドリーなホストファミリーだったので、リラックスできた。
- ホストファミリーを通して、日本の日常生活がどのようなものなのかを、直接知ることが出来た。この経験は、素晴らしいものだった。
- 自分の国に居るような生活が出来たことは、とても嬉しかった。日本での素晴らしい経験のひとつになりました。
- たくさん話して、笑って、楽しい時間を過ごしました。「いつでも連絡してほしい」と、ホストマザーに伝えました。私たちは親子のような関係になったと思います。

